

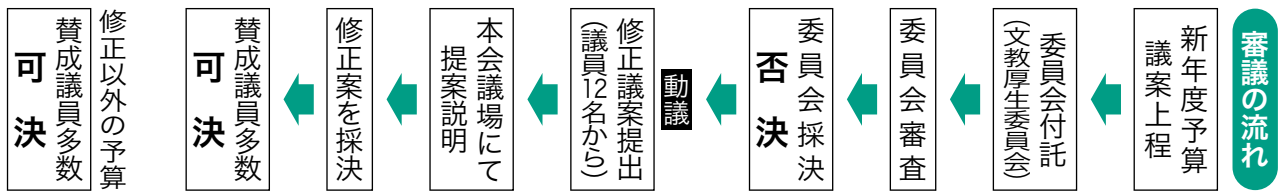
平成30年度 一般会計予算『修正案可決』

◆放課後児童クラブ運営委託費

- ・放課後児童クラブとは、共働きやひとり親家庭の児童を放課後に預かる施設で市内に17か所ある。事業所によっては、習い事など民間ならではの工夫で、他市町にはない保育のレベルを保っている。平成29年度放課後児童クラブ利用率は、市内全児童数の約12%となっている。

**原案
(要約)**

- ・民間での放課後児童クラブ保育料は、事業所によって異なり、平均すると一人あたり月額約12,200円です。半田市は、公営で行っている近隣他市と比較すると高く、市長の公約に沿って平成30年4月から保護者負担を小学校低学年9,000円、高学年5,000円と一律料金とし、差額を市費で補助するものです。
- ・平成32年度から基準保育料を設定し、全事業所一律とします。
- ・この保育料補助による歳出上乗せ額は、6,225万円と見込んでいます。



**修正案
の趣旨**

*前提として、子育て支援施策や働く女性支援、定住人口の増加策を否定するものではないが、行政の支援として公平性を欠くものであり、以下の理由のとおり修正を求めるものである。

1. 放課後児童クラブ保育料補助の視点だけでなく、半田市としての子育て支援に対する明確なビジョンが見えない中、保育料の一律値下げに疑問を感じる。
2. 放課後児童クラブの現状課題や、子育て世代のニーズ把握が十分されていない状況で、この事業の政策効果が見えない。
3. 放課後児童クラブを利用している家庭と利用していない家庭に対し、支援の格差が生じること疑問を感じる。

修正内容 他の事業予算に影響の出ないよう、修正部分に関係する額をすべて一般会計から削除し、同額を予備費に加算し、歳出総額を変更せず収支の均衡を図る。

修正案に対する討論

賛成

私たちは、子育て支援の充実や働く女性の支援は、とても重要であると考えていますが、所得の制限も殆ど無く、保育料の負担を軽減する事は子育て支援ではなく、放課後児童クラブ利用者の保護者のみに対する就労支援施策などではないかと言わざるを得ません。真に支援が必要な家庭に対して、より充実した子育て支援施策の提案を望みます。

石川英之議員

反対

放課後児童クラブの利用者が全児童数の約12%だと言って、予算を使うのは不公平という意見には賛成できません。現状は学区に1ヶ所、定員があるので、そうなるのは当然。高すぎる保育料を、市長の公約どおり下げながら、学校の空教室などを整備しつつ、公設民営・公設公営に切り替えて行くべきです。

山本佳代子議員

反対

半田市の放課後児童クラブの保育料は全国的にも高く、利用しにくいため、保育料を4月より軽減するべきと考えます。はんだ市報や新聞などに事前に公表されていたため、就労を予定しクラブ入所を申し込んだ市民や事業者は混乱しています。

加藤美幸議員

★市長の声

議会の判断を真摯に受け止め、庁内や事業所とも再度話し合いをする中で、最良の案を考え、補正予算などで対応し、できるだけ早い時期に実現させたい。